

様々な身体活動における非侵襲的なバイオマーカーの検討

1. 研究の先にある新たな未来とは？

身体活動（スポーツ・運動）は、身体的、精神的、社会的に良好な状態（well-being）を創り上げることができる手軽なツールです。みんなが身体活動を通して、健康で豊かなころろを持って、支え合って過ごせる未来を目指しています。



2. どんな研究をしている？

拠点研究は、well-beingをキーワードに、eスポーツを対象とした研究や、附属学校での保健体育授業における唾液マーカーの研究を遂行しています。また拠点研究で明らかとなったことを分子メカニズムの視点でも研究を発展させていくことができる環境を構築中です（運動の健康効果について、分子メカニズムの視点からも研究しています）。

3. その研究をしようと思ったきっかけは？

eスポーツは昨今、人気が高まり、「スポーツ」と位置付けられているものの、従来のウォーキングなどの運動と比較して、その「スポーツ」の良さや弊害についてを解明していく必要があると感じたから。また客観的なエビデンスとなる唾液マーカーは、教育現場における教師にとって、見える化が期待でき、質の高い教育につながらと思ったから。

身体性から考える全世代が健康と幸福を
享受できるプログラム開発の研究拠点

拠点長：時野谷 勝幸（教育学部）



詳細はこちら



いいね！を貼ろう